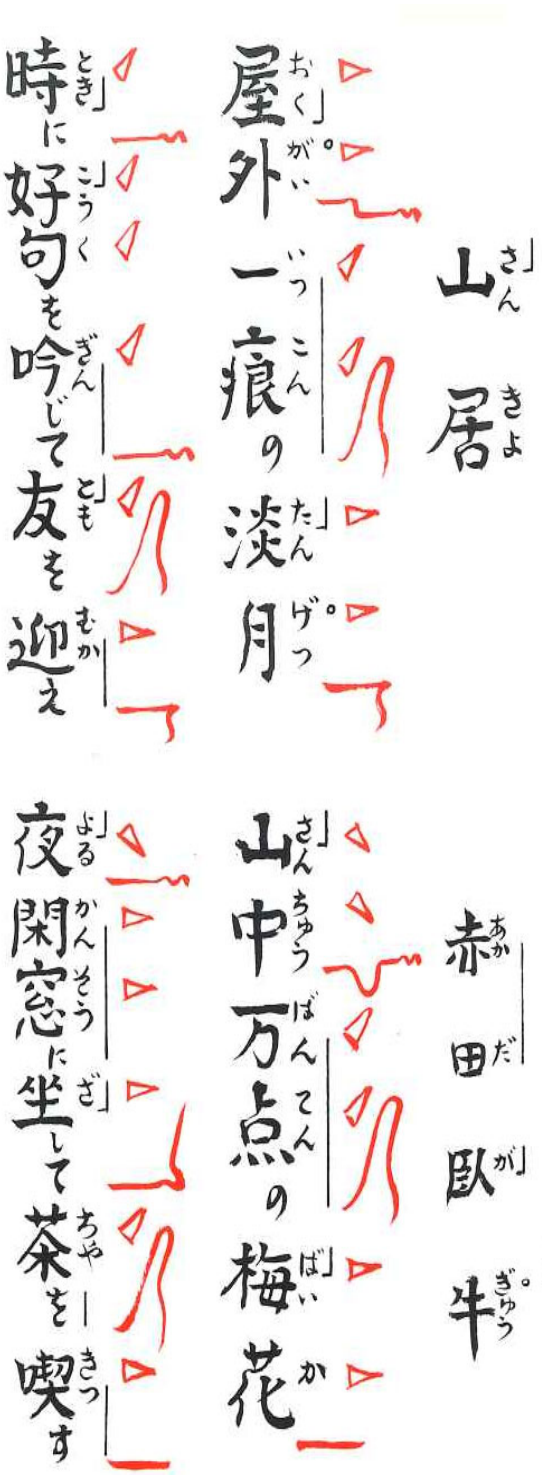

【作者】赤田臥牛（一七四七～一八二二年）江戸時代中期-後期の儒者。延享四年生まれ。生家は飛騨(ひだ)(岐阜県)高山の酒造業。学をこのみ，松平君山(くんざん)，浅井図南，竜草廬(りゅう-そうろ)，館柳湾(たち-りゅうわん)らと交遊。のち学塾静修館をひらいた。文政五年七月二十二日死去。七十六歳。名ははじめ朱義，のち元義。字(あざな)は伯宜。通称は新助。著作に「臥牛集初編」「滴水園十勝」など。

【語釈】＊山居…山中に住むこと。また、山中の住居。特に、隠遁いんとん者の住居。